発行者：一宮町を考える会　作成者：角田詩実

地域再発見 ウォーキングマップ

一宮町　国分

こくぶ 国分

1 森林公園　金川の森（かねがわのもり）

金川を挟んで36haの森林公園は「どんぐりの森」「スポーツの森」「さくらの森」「ふれあいの森」「かぶとむしの森」「こもれびの森」の6つの森に分かれていて、四季を通じて楽しめる。

2 経塚古墳（きょうつかこふん）

上から見ると、八角形の横穴式石室古墳。八角形古墳は、天下八方の支配者という思想から来ているとも言われ県内でこの形の古墳はここだけ。約1400年前に作られた。

3 どんぐりの森

アスレチックやローラースライダーなどの遊具がある冒険遊び場。子どもたちの笑顔があふれ、元気な声があちらこちらから聞こえてくる。

4 ターゲットバードゴルフ場

ターゲットバードゴルフとは、ゴルフボールにバトミントンの羽を付けたボールで打数を競うゴルフをミニ化した競技。ここは森林浴しながら初心者でも楽しめて気持ちがいい。

5 国分寺（こくぶんじ）

甲斐国分寺跡地開発のため、解体移設し現在地に復元した。鐘楼門は約350年前、本堂は約300年前、庫裏は約250年前のもの。薬師堂の薬師如来は、33年に一度のご開帳十二神将に守られている。

6 石船神社（いしぶねじんじゃ）

舟形の石を祀るこの神社の祭神は、天塩足尼命（テシオノスクネ）と岩奈加姫命（イワナガヒメノミコト）。かつて田舎歌舞伎が行われる際には、拝殿前方の柱をはずし、舞台として使用されていた。

7 長寿院（ちょうじゅいん）

明治39～昭和18年、前田寒山によって私立の寒山学校が開かれていた。今でも当時の教本や学生の写真が残されている。境内には寒山先生の碑が建てられている。

8 三蔵屋敷跡（さんぞうやしきあと）

幕末時代、博徒（当時のやくざ）の黒駒勝蔵を甲州から追い出し、竹居安吾郎を役人に引き渡した三蔵の屋敷跡地。後日妻と二人で突然姿を消してしまい、子分たちに捕えられたのではないかとも言われている。

9 六地蔵（ろくじぞう）

地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上の辻に立ち各々の道に向かう死者に悟りを与え、平等に救いの手をさしのべる地蔵尊。毎年11月に祭礼をする。

10 国史跡　甲斐国分寺跡（くにしせき　かいこくぶんじあと）

741年の聖武天皇の詔により全国に建てられた国分寺（金光明四天王護国之寺）のうちの一つ。甲斐国分寺の跡地である。東西約220m、南北約240mのエリアが国の史跡と指定され多くの礎石が残っている。